

市交際費の支出状況



令和7年12月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔 慰	今月分 累 計	0 46	0 112,800
見 舞 い	今月分 累 計	0 0	0 0
御 祝	今月分 累 計	0 34	0 169,900
賛 助	今月分 累 計	0 2	0 13,284
激励金	今月分 累 計	0 0	0 0
接 遇	今月分 累 計	0 9	0 113,953
会 費	今月分 累 計	1 18	4,000 93,800
そ の 他	今月分 累 計	0 2	0 7,645
合 計	今月分 累 計	1 111	4,000 511,382

※くわしくは市ホームページに掲載しています

問い合わせ

総務課 秘書係

☎0952-75-2115

「寄り添い、支え合う」
一年のうちでもっとも寒さの厳しいこの時期は、外出の機会が減り、人との関わりが少なくなりがちです。この時期は特に、高齢者が地域とのつながりを失い、孤立してしまうことがあります。近年「孤立」「孤独」といった問題は、心の健康や命にも関わる重要な人権課題として注目されています。
高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、福祉や介護の制度だけでなく、地域の人々の理解と協力が欠かせません。年齢を重ねても、一人の人間として尊重され、自らの意思で生活や人生を選択できることは、すべての人に保障

tomon i kiru

されるべき基本的人権です。
しかし現実には、支援を求めづらい環境や、偏見によって「助けを必要とすることが恥ずかしい」と感じてしまう人もいます。また、地域でのつながりが希薄になり、気づかないうちに孤立が深まるケースもあります。こうした状況を防ぐには、行政の支援に加え、地域に暮らす私たち一人ひとりの関心と行動が大きな力になります。たとえば、道ですれ違ったときに「お元気ですか」と声をかける。買い物やゴミ出しの様子を気にかける。そんなささいな関わりの積み重ねが、人の心をあたため「自分はここにいていい」という安心を生みます。
あたたかなまなざしをもって、支え合える地域社会のあり方を見つめて直してみませんか。
社会教育指導員 野中久美子

新市長として新しい一年を迎え

1月21日記

香月正則の

市長日記

市長就任後、初めての年始を迎えることができました。旧年は多くの皆さまに支えていただき感謝申し上げます。市長として年始行事に初めて参加することも多くありますが、中でも消防団行事については特に緊張がありました。今までは年末警戒、出初式、夏季訓練などに議員として参加していましたが、市長としては初めて、敬礼での手の位置や角度、また体の向きを変える所作など色々と感じることが多く、多岐消防署長から直々に指導をいただき無事に遂行できました。消防団員は地域のヒーローとして、市民の安心安全な暮らしと財産を守る活動をされていることに感謝に堪えません。

多岐聖廟では、1月から本格的に始まる受験シーズンに学問成就の絵馬奉納を行っています。孔子様を通じて「学ぶことの大切さ」や「人としての在り方」も教えられ、学びは知識を得るだけではなく、人を思いやる心も大事だと思います。絵馬奉納式を終え、聖廟を後にしていると絵馬を持った家族の方が参道を歩かれました。奉納式に間に合わなかったとのことでしたが、その絵馬を預かり、改めて奉納させていただきました。それが目にした来場者の方が多岐市は誰一人として取り残さないという姿勢に感嘆していました。
多岐聖廟が学びの歩みを後押しし、夢の実現につながることを心より願っております。余談ですが、私もこれまでに5回、孔子様に祈願をさせていただきましたが、全てが成就しました。

